



スージーちゃん

# 波田まちづくり通信



スイカワくん

## 「つむぎちゃんサポート」会員交流会を初開催

6月25日(火)、松本市社会福祉協議会の有償サービス「つむぎちゃんサポート」に登録いただいている協力会員の皆さんにお集まりいただき、初めて交流会を開催しました。

波田地区の協力会員は現在15名。草刈りやごみ出しなどの支援を中心に、高齢者の方の日常生活をサポートしていただいています。個々の活動となるため会員同士で顔を合わせる機会がこれまでなく、交流会ではサポートの状況やノウハウ、諸課題など、今後の活動に向け情報交換を行っていただきました。高齢者の方の自立した在宅生活支援に向け、同じ助け合いの志を持った心強い皆さんです。一緒に活動にさせていただける方はぜひご応募ください。(☎25-7330)



## 「梓川橋」の早期架け替えを県に要望

6月26日(水)、波田地区町会連合会は梓川地区と共同で「梓川橋」(通称：丸田橋)の架け替え要望書を松本建設事務所長に提出しました。

「梓川橋」は昭和39年の建設から60年が経過し老朽も進んでおり、令和3年の夏の豪雨では橋脚が大きく洗掘され、以後増水の際には通行制限がかけられていました。昨年度復旧はされたものの、もともと歩道がなく幅員も狭いため、歩行者や自転車が安全に行き交うことができません。双方の地区を結ぶ重要なルートですので、

早期架け替えと共に、その際は十分な幅員の確保と歩道を設置するよう強く要望しました。



(要望説明を行う大月会長)

## 松枯れ被害の小学校アカマツを伐採

今年の春先から枯れて樹全体が赤くなってしまった波田小学校のアカマツの大木を、7月16日(火)夜間に伐採する作業が行われました。

原因は、市内一円で被害を受けている松枯れ病であり、市の特別天然記念物に指定されているアカマツ林にまでとうとう及んでしまいました。市ではこれまで、松くい虫被害を予防する薬剤を定期的に樹幹注入してきましたが、完全に防ぐことはできませんでした。波田小学校のアカマツ林は、もとは松本藩の御林の一部であり、歴代の児童・保護者や育成会の皆さんなどにより、これまで長年大切に保護・管理されてきました。現在約450本、中には樹齢200年を超えるものもあり、まさに波田地区のシンボルといえます。伐採は倒木等の危険があるためやむを得ない措置ですが、他の松へ被害が拡大していかないことを祈るばかりです。



(伐採後のアカマツ切株)